

### 骨折リエゾンサービス研修会

9月14日、厚生連高岡病院の坂越先生より、骨折リエゾンサービスについてご講演いただきました。

リエゾンサービスの目的は、最初の骨折への対応及び骨折リスク評価と新たな骨折の防止、また最初の脆弱性骨折の予防です。先生のお話によると、1年以内に次の骨折を起こすリスクは2〜3倍、5年以内では17倍にもなるそうです。退院後も治療継続できる地域包括リエゾンが必要とされています。

私達も、診療科の垣根をこえて、地域ぐるみでのこの活動に取り組んでいきたいと思えます。

（外来看護部主任 林 美由紀）

### トイレトペーパーと手指衛生

日本防菌防黴（ぼうばい）学会によると「トイレトペーパーを36枚重ねてようやく手から大腸菌群が検出されなくなる」との結果が報告されています。手にトイレトペーパーをくると巻きつけた長さを仮に25cmとして、36枚重ねるとしたら2cm×18回=450cm。これでお尻を2回拭く場合、一度に約9mものトイレトペーパーを使用する計算になり、不経済であるだけでなく、トイレに詰まりやすいという弊害も生まれます。

この結果を見ると、トイレ1回につきそれほど大量の紙を使うというのは現実的ではなく、また、お尻を拭いた後の手にどれほどの菌が付いているのか想像できます。だからこそちゃんとした手洗いが大事！そして私たちが使用しているティスポ手袋は、亀裂やピンホール不良があってもよい規格になっています。手袋を過信せず、手袋を外した後の手指衛生もお忘れなく☆彡。（2023.11.2 院内感染対策研修会より抜粋）

（感染管理認定看護師 澤野 博美）

### Happy White Xmas

12月21日、外はたくさん雪が積もり始めた寒い日でしたが、入院患者さんの病室には美子先生サンタと、クリスマスツリーとトナカイに扮したナースが、鈴の音と共にプレゼントを持って訪れました。突然の訪問に患者さんはびっくりしておられました。涙を流して感謝される患者さんもおられ、年代問わずクリスマスは幸せな気持ちになるイベントですね♡私はカメラマンとして参加させていただき、たくさん患者さんの笑顔がみられて、心温まる日となりました。

（医事課 小西 美香）



# A S A N A G I 瓦版

## お知らせ

- ・ **新型コロナウイルス感染予防のため、1月1日現在、面会を制限させて頂いております。**
- ※ **面会時間：14時～16時 1回2名まで 15分以内**
- ※ **18歳以上の同居の方（高校生はご遠慮ください）、キーパーソンのみ**
- ・ **湿度を保ち、こまめにうがい・手洗いやマスク着用を励行してインフルエンザやその他のウイルス感染症に気を付けましょう！**

### 令和6年新年のご挨拶



### 理事長 黒田 昌宏



明けましておめでとうございます。患者様とご家族、そして職員の皆様におかれましてはつつがなく新年をお迎えになられたこととお慶び申し上げます。

しかしながら今年は、元旦には阪神大震災や熊本地震より大きな巨大地震が能登半島を襲い、そして2日には羽田空港の滑走路上で航空機同士の衝突事故が起こり、正月気分を吹き飛ばす波乱の幕開けとなりました。富山県でも最大震度5強が観測され、避難所生活や断水を強いられた方も多く、心からお見舞い申し上げます。

この巨大地震発生時、当院では中間透析終了と夜間透析開始が多なる時間帯でした。その直後に私と当院技師長は運良く(?)勤務日でしたので、二人で院内外を見て回りましたが、エレベーターとガス配給がしばらく停止した以外に建物や設備に大きな被害はなく、また予定通り透析終了患者さんは全員帰宅でき、夜間患者さんは全員無事来院されました。余震が続く中、夜間透析の透析時間は短縮を余儀なくされましたが、全員無事終了し帰宅されました。さらには翌日、この地震による断水や井戸水の濁りで血液透析ができなくなった近隣施設より患者さんの血液透析を約10名依頼されお引き受けし、この件もスムーズに執り行うことができました。当院では15年位前から日本透析医学会、日本透析医会、富山県透析医会が主催する災害対策の講演会や訓練にも参加しており、普段からの災害に対する皆さんの高い意識の持ちようが今回の良好な結果に結びついたものと感謝いたしております。

今年は辰年です。当院では4月から新たに信頼できる医師に加わっていただける予定ですし、7月になれば卒夫婦が高岡に帰る大学に通いながら当院も手伝ってくれる予定です。経営的に楽ではないのですが、あさなぎ病院も電のようにならざるを得ない状況で、皆様のお力を借りながら努力する所存です。

今年もよろしくお祈り申し上げます。

### 豆たっぷりチーズチヂミ

豆には良質なたんぱく質や脂質、ビタミン、食物繊維、カルシウムなどのミネラルがバランス良く含まれています。野菜と豆をたっぷり使ったチヂミをお試しください♡

#### ◆ 作り方

- ① 玉ねぎは薄切り、人参は細切り、ニラは4〜5cmに切る。
- ② ポウルにAを入れて混ぜ合わせ、豆、玉ねぎ、人参、ニラを混ぜる。
- ③ フライパンでごま油を熱し、②をお玉で4等分に分け入れて中火で焼く。
- ④ 片面が焼けたらひっくり返し、フライ返しで抑えながら焼く。最後に強火でカリっとするまで焼いてできあがり。

◆ 栄養価(1人分) エネルギー：197kcal たんぱく質：10.1g 塩分：0.6g

#### ◆ 材料(4人分)

- ・ 蒸しサラダ豆 (蒸し大豆) 1パック (100g)
- ・ 玉ねぎ 大1/4個 (80g)
- ・ 人参 1/4本 (40g)
- ・ ニラ 1/2束 (50g)
- ・ 卵 1個
- ・ 水 大さじ2
- ・ 薄力粉 大さじ3
- ・ 片栗粉 大さじ1
- ・ 鶏がらスープの素 小さじ1.5
- ・ ビザ用チーズ 60g
- ・ ポン酢しょうゆ、ラー油など お好みで(分量外)

### あさなぎ病院忘年会



12月16日コロナ禍明けにより、4年ぶりに忘年会が開催されました。厚生連の岡本先生によるピアノ演奏、36名の新人紹介、クイズ大会、岩井中先生の講演が行われました。同じ部署内でもなかなか交流する機会がない中、感染対策を実施しながら、久しぶりに皆で盛り上がり、楽しい時間を過ごすことができました。

（病棟看護師 守部 晴美）

昨年11月に入職しました、透析看護師の中谷竜也です。4年ぶりの忘年会に今回初めて参加しました。前職場での忘年会を数えると5年ぶりの宴でした。新型コロナやインフルエンザ対策を講じながらの宴会でしたが、普段マスク越しの顔しか見たことのないスタッフも多くとても新鮮に感じました。コース料理とお酒を楽しめてとてもよかったです。

新型コロナも下火になりつつあるとはいえ、気持ち新たに頑張っていこうと思います。

（透析看護師 中谷 竜也）



### あさなぎ訪問看護ステーション

利用者さんの生活の場に入らせていただき、ケアをさせてもらっています。時に自分の考える「最善」がよりますが、利用者さんにとっての「最善」が大切であり、希望に沿った療養生活となるよう主治医やケアマネの方と連携しながら、在宅生活を支えていけるよう関わっています。

（看護師 本田 絵美）

自宅での生活に不安を抱えておられる方に対し、自分のできることは多くはありませんが、利用者の方またそのご家族と信頼関係を築き、少しでも安心して生活が送れるよう関わっていきたく思います。在宅での生活に不安や心配なことがありましたら、あさなぎ訪問看護ステーションに是非ご相談ください。

（看護師 山崎 芹奈）

#### ～ご案内～

#### 糖尿病教室の開催について

第6回 2月7日(水) 10:00～

★詳しくは、受付 本町までお問い合わせください。

#### ～新任紹介～

- (10月) 病棟 山田 美穂 (看護師)
- (11月) 訪問看護ステーション 谷口 広子 (看護師)
- (12月) リハビリ 坂本 咲希 (理学療法士)
- 病棟 笹谷 真琴 (看護師)

#### ～スタッフ募集～

現在あさなぎ病院では、病棟看護師、外来看護師、透析センター看護助手、病棟看護助手を募集しております。お問い合わせは、総務課 荒谷までお願いいたします。☆ 電話番号 0766-22-5445